

学校教育目標：自ら考え本気で学ぶ子 明るく思いやりのある子 元気でやりぬく子



本気

一人一人の瞳が輝き、磨き合い・高め合いながら、伸びる喜びを味わえる学校

春日部市立正善小学校
学校だより 7月号
令和元年度 No.4
令和元年6月28日
全校児童数 411名

～ 体験によって得られるもの ～

校長 窪田 忍

梅雨の合間をぬって、元気に泳ぐ子どもたちの声がプールから聞こえてきます。
早くも学校では1学期のまとめの時期を迎える頃となりました。

さて、私の好きな作家の一人に、相田みつをさんがいます。相田さんの著書に、「一生感動・一生青春」があります。その中に、次のような言葉が載せられていました。

—受け身・受ける練習—

柔道の基本は受け身 受け身とは投げ飛ばされる練習

人の前で叩きつけられる練習 人の前で転ぶ練習 人の前で負ける練習です。

つまり、人の前で失敗をしたり、恥をさらす練習です。

自分のカッコの悪さを多くの人前でぶざまにさらけ出す練習、それが受け身です。長い人生にはカッコよく勝つことよりも、ぶざまに負けたり、だらしなく恥をさらすほうが、はるかに多いからです。そして、負け方や受け身の本当に身についた人間が、人の世の悲しみや苦しみに耐えてひと（他人）の胸の痛みを心の底から理解できるやさしく、あたたかい人間になれるのです。



私たち大人は、ともすると「転ばぬ先の杖」ではありませんが、子どもたちの行為の先回りをして、子どもたちにとって必要な「失敗経験」をうばっているようなことはないでしょうか。このことは、学校・家庭・地域の様々な場面において、あてはまるように思います。

子どもたちには失敗を恐れずに、何にでもチャレンジしてほしいと思っています。そして、そこから得られる経験を生きて役立つための体験に変えてほしいと思います。

1学期も残すところあとわずかです。子どもたちが楽しみにしている夏休みも、もう目の前です。この夏休みも様々な体験を通して、子どもたちの生きて働く力を更に強く、深くしてほしいと思います。よろしくお祈りします。

1学期を振り返り、まとめをしっかりと

7月20日から子どもたちが楽しみにしている夏休みが始まります。その前に、もう一度、1学期を振り返ってみてください。人は自分の行為を振り返ることで、良いことは更に強化され、悪かったところは改めることで成長し続けます。その意味においても、1学期を学習、運動、生活のそれぞれの視点から見直してください。必ず次の活動へと生かすことができるはずです。

どうぞよろしくお願いいたします。

市内陸上大会

本気・全力 正善っ子大健闘!

6月6日(木) 緑小学校にて市内陸上大会が行われました。真夏のような日差しが降り注ぐ中、子どもたちは2か月間にわたる練習の成果を出し、大健闘しました。本番当日、自己ベストを更新する子どもも大勢いました。本気、全力の勇姿を見せてくれました。心から拍手を送りたいと思います。また、緑小学校会場ということで、子どもたちの安全を見守っていただきました保護者の皆様、大変ありがとうございました。



壮行会選手代表挨拶 (6月5日)



男子 100m



女子 80mハードル



男子 走り高跳び



選手のみんな



女子 1000m

プール開き 水泳学習開始

6月4日(火)にプール開きを行いました。6年生が一生懸命掃除をし、きれいなプールになりました。全校児童がプールに集まり、安全に水泳学習をするための話を聞いたり、代表児童がめあてを発表したりしました。夏季休業中の7月29日(月)～8月3日(金)も水泳学習を行います。その後、8日(木)～21日(水)も正善小プールを市が開放します。



交通安全教室(5月28日)



春日部警察署、交通指導員さん、交通防犯課、安全協会の方々をお招きして、交通安全について学習しました。今年も事故0に努めます。

なかよし集会

6月19日(水)になかよし集会を行いました。6年生をリーダーに1～6年生混合の班で、スタンプラリーをしました。それぞれの教室で担当の先生からクイズやゲームのミッションをもらい、班全員で協力しながら解決し、スタンプを集めました。



第1回放課後子ども教室

6月24日(月)に放課後子ども教室が開催されました。今回は、カイロプラクター井上薫先生から、「正しい姿勢」について教えていただきました。子どもたちは、講話や体操等を通して正しい体の使い方を学びました。

